

## 「働く女性の交流会inアバンセ」を開催しました

企業などで働いている若手の女性のスキルアップと意識改革を応援する学習・交流会「働く女性の交流会inアバンセ」を開催しました。

この交流会は、連続セミナー「働く女性のためのアバンセ・セミナー」土曜コースの第3回として、平成28年2月27日に実施しました。



パネルディスカッションの様子

- 主催 佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ)
- 後援 佐賀労働局、佐賀県経営者協会、佐賀県商工会議所連合会、佐賀県商工会連合会、佐賀県中小企業団体中央会

### 講演「ハッピーキャリア7原則と整理術」

今回の「働く女性の交流会inアバンセ」は、講師にNPO法人女性と仕事研究所(大阪市)代表理事の諸田智美(もろださとみ)さんをお迎えしました。

午前の「ハッピーキャリア7原則と整理術」と題した講演では、まず「女性の活躍推進」は今なぜ必要なのか、日本の女性は活躍できているのかということについて、管理職に占める女性の割合の国際比較やジェンダーギャップ指数等のデータを用いての解説がありました。また、女性のキャリアを阻害する要因として、終身雇用や年功序列賃金、長時間労働を前提とする「日本的」な雇用慣行や依然として根強い性別役割分担意識等を挙げられ、さらに、女性の中の「無意識のバイアス」の存在を指摘されました。

諸田さんによると、日本の女性は「自分には能力がない」と自信を持っていない人が少なくないとのこと。「女性と仕事研究所」では関西地区の企業の管理職の女性へインタビュー調査を実施されていますが、これらの多くの回答から、女性のキャリア形成に「女性自身の意識と行動の改革」が欠かせないことが明らかになっているとのこと。男性の育児参画や“イクボス”も必要だが、女性の活躍のためにはまず女性自身の意識を変えていくことが重要だと述べられました。



続いて参加者は、2種類のワークシートを使ったセルフワークとグループワークを体験しました。まず、自分のキャリアを「やっつけて楽しいか」、「成果が出ているか」で整理していき、自らの強みと弱みを掴みました。次に、キャリアアップするために不足している意識や行動を挙げ、グループで共有してそれぞれの解決策を探りました。5つのグループが模造紙を使って発表し、全体で共有できたところで午前のプログラムが終了しました。諸田さんからは最後に「ちょっとしたミスでいつまでも落ち込まない

で」と参加者へアドバイスをいただきました。

### パネルディスカッション「先輩リーダーに学ぼう！ ハッピーキャリアの実現方法」

午後からのパネルディスカッションには、佐賀県内の企業で活躍する管理職の3名の女性にご登壇いただきました。

また、パネルディスカッションの終了後は、参加者とパネリスト、コーディネーターがフリートークで交流を深めました。

#### ○パネリスト(氏名50音順)

西日本総合コンサルタント株式会社 総務課長	大坪真由美さん
九州電力株式会社 鳥栖営業所 営業運営グループ長	大野美佐子さん
株式会社佐賀共栄銀行 人材開発室 室長	北村 桂さん

#### ○コーディネーター



以下のレポートはパネリストのみなさんの発表の一部をアバンセ事業部でまとめたものです。

### 西日本総合コンサルタント株式会社 総務課長 大坪真由美さん

私はもともと団体職員として働いていて、結婚を機に退職しました。その頃は「寿退社」の時代で、結婚しても働くという人は本当に少なく、そんな選択肢は当時の私にはありませんでした。

7年間の専業主婦時代は子育てと家のことで精いっぱい。自分の子どもは絶対に自分で育てたいと思っていましたし、その「子育て」もマニュアルどおりしなないと気が済まないようなところがありました。夫の両親との同居でしたので、「よい嫁」、「よい妻」、「よい母」でありたいと思っていました。

下の子どもが幼稚園に入る時、子どもがいない昼間の時間をどう過ごそうかと考え、パートの仕事を探しました。幸い近所のメーカーの事務職に決まり、そこで5年間働きましたが、4、5時間の補助的な仕事にだんだん満足できなくなりました。「もっとやれるんじゃないか」と本格的に仕事を探し始めた時に今の会社との出会いがありました。

当時はまだ「家事や育児は自分でしたい」という思いが強く、睡眠時間を削りながら頑張っていました。しかし、一生懸命なあまりに大きな病気になる、長く入院することになってしまいました。病院の先生からの「もっと視野を広げて」という言葉をきっかけに、「このままではいけない」、「家事や育児は周りの人に協力してもらっていいんだ」と、やっと思えるようになりました。

入社当時は当社に主任以上の女性社員はいませんが、現在の社長が就任してから組織改編があり、女性にも役職をつけて責任を持たせるようになりました。「これからは女性が活躍する時代だから、あなたがロールモデルになりなさい」と言われ、有無を言わず引っ張られたようなところもありますが、平成26年に私は管理職になりました。責任は重くなりましたがとてもやりがいがありますし、たくさんの有識者の方々との出会いが私を大きく変えてくれたと思っています。

当社はグループ制を採っていて、お互いの仕事を共有しています。コミュニケーションがとれていれば、急な休みでも「あなたのためならがんばろう」とみんなが思ってくれるはず。みなさんの周りに家事や子育てを手伝ってくれる人がいるなら上手に甘えたほうがいいし、いろんな人を巻き込みながら、今の自分にできることを精いっぱい頑張ってください。きっと結果がついてくるのではないかと思います。

[<<パネルディスカッションの先頭に戻る](#)



### 九州電力株式会社 鳥栖営業所 営業運営グループ長 大野美佐子さん

九州電力の社員は9割くらいが男性です。私が入社して総務課に配属された当時は、女性の社員は「職場の花」のような感じで、周りにかわいがってもらっていたように思います。しかし、転勤が多い職場ですからそのうち営業部門に転勤になり、仕事もお客様対応に変わりました。営業では上司を含めて周りのみんながバタバタと仕事をしていました。この時に職場と仕事内容が変わったことは「ぼちぼち仕事をしているわけではないんだな」と、自分の気持ちも切り替わるきっかけになりました。

30代は会社の中でも特に忙しい職場にいて、毎日仕事に没頭していました。管理職なんて考える余裕もなかったのですが、当時の上司は私に「これからは女性が活躍していく時代になる。あなたならきっとリーダーになれるんじゃないか」と言いました。すると、だんだん「自分が管理職になったら、もっと働きやすく楽しい職場をつくりたい」と考えるようになり、その思いが強くなると今度は職場の状況をよく観察するようになりました。改善が必要だと思ったことはすぐ上司に伝えたり、同僚と改善策を考えて実践してみたり。どんな小さなことでも状況がよくなると思

んなが喜んでくれます。それが嬉しくてやりがいを感じました。私が管理職になろうと思ったのはこんな経験があったからです。「リーダーになれる」と言ってくれた当時の上司にはとても感謝しています。

その後もずっと営業部門でキャリアを積んでいましたが、平成16年に九州電力で初めて、電話を集中して受け付けるコールセンターが佐賀県にできることになり、私は佐賀県と長崎県の領域を受け持つ副長として、管理職の命を受けて働くようになりました。その頃に社内の「ビジネスリーダー研修」に手を挙げて参加させてもらいました。課題の解決策を考えてプレゼンするという厳しい研修で、約30名いた参加者は私以外の全員が男性でしたが、私は「コールセンターに集まるお客様の声を分析して提言したい」と職場のメンバーに協力を求め、最終的に本店の部長の前でプレゼンテーションをすることができました。協力してくれたメンバーもとても喜んでくれました。

女性は「私にはできません」、「無理です」などと、どこか最初に決めてしまう傾向があるように思います。みなさんが上司から「新しい企画をやってみたら」と言われた時には「楽しそうだな」と前向きに捉えてやってみてもらえたらと思います。意外とおもしろくて、そのうち私のように「リーダーになろうかな」と思う人もいないのでしょうか。まずは今やっている仕事を好きになることです。それが仕事を長く続ける秘訣だと思います。また、仕事の成果は陰で支えてくれる人の多さと強さで変わります。周りへの感謝を忘れずに、働きやすく、楽しく成果を出せる職場の風土をつくっていただきたいと思います。

[<<パネルディスカッションの先頭に戻る](#)

### 株式会社佐賀共栄銀行 人材開発室 室長 北村 桂さん

私は平成5年に福岡支店に入行しました。当時は女性行員同士で「何年くらい勤める？」と普通に会話していたような時代。上司からも「結婚したら辞めていいけど、いつ結婚するかは早めに教えて」と言われていました。

そんな中でも私には他の女性行員とはちょっと違う感覚がありました。入行して配属された福岡支店で最初に先輩や上司、支店長に挨拶をした時に、「私は何年経てば支店長になれるのかな？」と思ったのです。辞めることなど考えず、「支店長になるためにはどう頑張っていけばよいか」となどと考えていたところが周りの女性行員とは違っていたと思います。

銀行は本当に忙しくて、毎日が目まぐるしいものでした。入行して3、4年目に同い年の男性たちが入ってきました。彼らと一緒に話をする中で、銀行員には関連資格の取得が欠かせないものであることがわかり、試験に合格しようとみんなで盛り上がりました。

私が試験勉強をする姿を見て「あれ？ 女性は資格とか取らなくて大丈夫よ」などと周りから言われたこともありましたが、当時独身だった私は頑張って勉強し、その試験にひとりだけ合格することができました。この後も次から次に試験に合格し、銀行員として持っておきたい資格は全て制覇することができました。

平成12年に当行の行員と結婚した後は、出産と育児休暇を経て、異動先の佐賀県内の支店で仕事に復帰しました。「仕事は絶対に辞めないように」と、就職前から言ってくれていた母が毎日応援に来てくれましたが、全てにおいて100%頑張ってしまう、作中に倒れてしまったこともありましたが、母の教えのとおり、経済力を身に付けることができたのは、仕事と子育てを両立できてよかったことのひとつです。

管理職になったのは支店の次長になった平成23年で、その翌年に支店長になりました。仕事とはつらいのが当たり前ですが、会社に認められてポジションに就いたなら、それに見合った仕事をしなければならぬと思います。成果が出るとやりがいにつながります。今、「女性の活躍」ということで発破を掛けられて、もしかしたらちょっと息苦しい女性がいらっしやるかもしれませんが、佐賀の女性たちはまじめに頑張ろうとしますが、少し余裕を持って、普通に頑張っていればよいのではないかと考えています。

[<<パネルディスカッションの先頭に戻る](#)

※上記のレポートはパネリストのみなさんの発表の一部をアバンセ事業部でまとめたものです。

[<<戻る](#)

[↑このページの上部へ](#)



アクセス・交通機関のご案内 ▶

佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんどの森内)

TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

日曜・祝日:8時30分～17時00分  
(ホールは22時00分まで)



お問い合わせ/ご意見・ご要望 ▶

【指定管理者】[公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

休館日

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで